

福祉文教常任委員会協議会 説明資料

令和8年11月6日

まなびの教室（仮称）について

資料

大磯町立小学校 通級指導教室「まなびの教室」（仮称）新設について

趣旨	・・・ 1
事業概要	・・・ 1
対象者	・・・ 1
通室までの流れ	・・・ 2
開設までのスケジュール	・・・ 2
開始時期	・・・ 2
【参考】大磯町立小学校の支援リソースについて	・・・ 3

参考資料	大磯町立小学校通級指導教室「まなびの教室」（仮称） （保護者配付リーフレット）	・・・ 5～6
------	--	---------

学校教育課

大磯町立小学校 通級指導教室「まなびの教室」（仮称）新設について

1 趣旨

近年、大磯町立小学校には、学校生活の中で「他者とのコミュニケーションがうまくいかない」「特定の教科にだけ、極端な苦手がある」「集団生活に適応しにくい」などの傾向がある児童が見られます。

大磯町教育委員会では、そのような児童に対し、自分の気持ちを相手にわかりやすく伝える練習をしたり、他者とのかかわり方を学んだりすることで、児童一人ひとりの気持ちに寄り添い、自身のペースで安心した環境の中で人間関係の適応力をつけるための通級指導教室を開設します。

※「まなびの教室」の呼称については現在検討中です。

2 事業概要

- ・指導内容：通級による指導に係る特別の教育課程を編成するに当たっては、児童生徒の障がい特性に応じた指導（以下、自立活動）を、教育課程に加え、又はその一部に替えることができます。その内容は特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行います。
- ・開設場所：町内の各小学校に開設を想定しています。
- ・指導形態：週に1～2時間程度、当該の指導時間のみ在籍学級を離れて通級。主に個別の支援計画に基づき、自立活動を通して個別指導もしくは少人数指導を実施します。
なお、教科の遅れを補う授業ではなく、「生活の土台」を育てる活動に取り組みます。
- ・出席扱い：通常の学校の授業と同様に出席として扱われ、遅刻や早退にはなりません。
- ・利 点：在籍する学校内に設置されるため、自分の小学校で直接指導を受けられます。そのため、他校への移動に伴う保護者による送迎が不要となります。

3 対象者

大磯町立小学校の通常の学級（通常級）に在籍している児童。

※特別支援学級に在籍している児童は、この「まなびの教室」に通うことはできません。

高機能自閉症、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（AD/HD）などの発達障害、又はその傾向がある児童。集団生活における対人関係や、感情・行動の自己調整（コントロール）に課題を感じている児童。（例：集団での行動が苦手、自分の気持ちを伝えるのが難しい、書くことや手先を動かすことが苦手、不安やイライラのコントロールが難しいなど）

4 通室までの流れ

児童の個別の教育的ニーズを見極め、適切な支援を行うため、次のような手続きを経て入級を決定します。

- 1 保護者および学校（学級担任や教育相談コーディネーター）の双方の希望に基づき、まずは学校相談窓口を介して相談を行います。
- 2 面談を通して、家庭や学校生活における具体的な困り感、児童の日常の様子をヒアリングします。
- 3 スクールカウンセラー等の専門職が児童の様子を実際に観察し、本当に必要な支援について見立てを行います。
- 4 保護者からの申出を受け、学校と教育委員会で通級の必要性を協議し、入級を正式に決定します。
- 5 決定後、児童ごとの個別目標および指導計画を決定し、通級を開始します。

また、通級による指導の効果を通常の学級や日常生活につなげるために、学級担任と通級指導担当、家庭が、学習の進捗状況等について「個別の支援計画」と「個別の指導計画」を作成・活用しながら、情報交換・連携をすることを重視して実施することを目指します。

5 開設までのスケジュール

令和8年7月	保護者向け資料配布
9月	まなびの教室についての問い合わせ（～11月中旬）
11月下旬	保護者とともに審議調書を作成
12月中旬	校内就学支援委員会
12月下旬	教育委員会へ審議結果を報告
令和9年1月下旬	町就学支援委員会にて入級審査結果を報告、教育委員会として決定 ※令和9年4月以降の運用は、入級審査年3回程度を考えています。

6 開始時期

令和9年4月より開始予定

【参考】大磯町立小学校の支援リソースについて

学級	<p>いわゆる「通常級」</p> <p>神奈川県は、『障害の有無にかかわらず全ての子どもが通常の学級（同じ場）で共に学べる環境づくり』を推進している。</p>
特別支援学級	<p>いわゆる「支援級」</p> <p>障がい特性のある児童生徒を対象に、一人ひとりの特性やニーズに合わせた支援を少人数で行う学級。</p> <p>大磯町就学支援委員会での審査を行い、在籍変更を伴う支援リソースとなる。</p> <p>「自立活動」と「各教科等の学習」の2本柱で運営される。</p> <p>大磯小：学習室 国府小：なかよし</p>
取り出し学習	<p>通常級での授業の中で理解の難しい児童について、学習進度や状況に合わせて少人数や個別に取り出して学習支援を行う支援リソース。学習活動に対するアプローチを行う。</p> <p>大磯小：あおぼとルーム 国府小：個別学習室</p>
校内支援センター	<p>不登校等、教室や学校に行くことに苦手意識のある児童が、まずは安心して学校に通うことができるようになることを目的に生活支援を行う支援リソース。</p> <p>苦手の原因となっている事柄に、個別にアプローチを行う。</p> <p>大磯小：みんなの教室 国府小：校内支援センター</p>
通級指導教室 (ことばの教室)	<p>言語について課題のある児童に対して、発音・発語等の言語活動に対するアプローチを行う支援リソース。</p> <p>※特別支援学級在籍の児童は通うことはできない。</p> <p>大磯小：開設なし 国府小：1学級開設</p>
通級指導教室【新】 (まなびの教室)	<p>集団生活における対人関係や、感情・行動等の自己調整に課題のある児童に対するアプローチを行う支援リソース。</p> <p>学習環境調整の仕方を学ぶことで、学校生活や学習活動に取り組みやすくなる方法について獲得することを目的とする。</p> <p>※特別支援学級在籍の児童は通うことはできない。</p>

『よくある質問（Q&A）』

Q.まなびの教室で学ぶことで、遅刻や早退になりますか？

A.なりません。通常の学校の授業と同じように出席となります。

Q.保護者の送迎は必要ですか？

A.必要ありません。普段通っているご自身の小学校で指導を受けることができます。

Q.国語や算数など、授業の遅れを補う場所ですか？

A.授業の補填を行う場所ではありません。授業の受け方の工夫や他者とのかわり方など、「まなびや生活の土台」を育てる時間です。



『通室までの流れ』

STEP1「ご相談」

「学級担任」または「教育相談コーディネーター」へお気軽にご相談ください。

STEP2「面談」

普段のお困りごとやお子様の様子について、お伺いします。

STEP3「専門職による見立て」

スクールカウンセラー等の教育心理職が、お子様に必要な支援を一緒に考えます。

STEP4「申請と審査」（年3回程度*2）

保護者の方からの申請を受け、学校と教育委員会で審査をし、決定します。

STEP5「通級スタート」

お子様に合わせた個別の計画と目標を決め、活動が始まります。

大磯町立小学校
通級指導教室

「まなびの教室」

学校生活の中で、少し「困ったな」「苦手だな」と感じることはありませんか？

「まなびの教室」は、お子様一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して笑顔で毎日の生活を送るための「コツ」を、自分のペースで楽しく学ぶ通級指導教室を、令和9年度より開室する予定*1です。



大磯町教育委員会

*2 令和9年度入室審査は1回のみの予定です

*1 令和8年7月現在

『まなびの教室って？』

学校生活での「ちょっと苦手なこと」を、「できた！」という自信に変えていくための教室です。週に1～2時間、クラスを少し離れて一人一人に合わせたプログラムで学びます。

☆このような様子はありませんか？☆

- ☐ 集団での行動が苦手
- ☐ 自分の気持ちを伝えるのが難しい
- ☐ 書くことや手先を動かすことが苦手
- ☐ 気持ちのコントロールが難しい



『なにををするところ？』

お子様の状況に合わせて、個別や小グループで活動に取り組みます。

<活動の内容>

・伝える力を育てる

ミニスピーチなどを通じて、自分の気持ちを相手にわかりやすく伝える練習をします。

・人とのかわり方を学ぶ

ルールのあるゲームなどを通じて、順番を守ることや気持ちを切り替えるコツを体験します。

・体と気持ちを整える

軽い運動や指先を使った作業などを通して、体の動かし方やリラックスをする方法を身につけます。



『大切にしたいこと』

まなびの教室での活動を通して、お子様は次の5つの目標に取り組みます。

① 気持ちをコントロールする

不安やイライラを、自分で落ち着かせるコツを身につけます。

② 自分の良さを知り、自信をもつ

「得意」に目を向け「できた！」を増やします。

③ その場に合わせた行動を身につける

学校の決まりやマナーを理解します。

④ 気持ちの良いやり取りを学ぶ

相手の話を聞き、自分の想いを伝える方法を学びます。

⑤ 意欲を高め、元気に過ごす

毎日の学校生活を前向きに送れるようにします。

